

新年あけましておめでとうございます。

2020年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年は北海道臨床工学技士会が9地区の支部制となります。

昨年の第30回北海道臨床工学会、北海道臨床工学技士会創立30周年記念式典と節目の年に皆様のご協力のもと支部制導入のご賛同を得られたことは誠に喜ばしいことであり、当会の歴史的なタイミングに理事として運営に関われることを光栄に思います。

約1300名の会員に向け充実した情報発信や生涯教育を提供するために、100名を超えるスタッフにより運営を執り行っており、支部導入によりさらに多くの皆様に支えられることとなります。現在行われている事業だけではなく、今後の臨床工学技士発展のために関連団体や公的機関との連携にも力を入れ、北海道全域ワンチームで北海道臨床工学技士会を盛り上げて行ければと思っております。

災害大国日本といわれ自然災害が毎年各地で発生し大規模自然災害が少ないと言われてきた北海道でも、ここ数年で洪水や地震による大規模な被害が発生しております。当会としましても災害時の情報共有体制を確立すべく準備をまいりました。支部制導入により災害時情報共有体制についても皆様のご協力を得ながら整備してまいります、進捗につきましては当会ホームページや年6回発行いたします技士会ニュースにて広報いたしますのでご協力よろしく申し上げます。

昨年から一部適応されました働き方改革関連法案による、今後の医師労務負担軽減に関するタスクシフティングについては医師の業務移管がどこまで臨床工学技士にされるかが注目されます。臨床業務だけではなく医療施設や医療機器の安全管理に関する使命も十分に果たすことによりあらゆる場面で必要とされる職種として発展できるのではないかと思います。そのための会員の皆様への情報発信や交流の場の提供などは支部制導入により一層の充実が図れるかと思えます。

本年も北海道臨床工学技士会と致しまして、尽力してゆく所存でございますので、更なる皆様の格別のご指導とご支援をお願い申し上げます。

令和二年一月一日

公益社団法人 北海道臨床工学技士会

会長 大宮 裕樹